

J R関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第36回）

1. 日 時

令和7年9月26日（金）15時15分から17時30分まで

2. 場 所

笠置町いこいの館 2F ホール

3. 出席者

委員16名（うち代理4名）、オブザーバー3名（うち代理1名）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議題

下記の全ての議題において、承認。

- ・協議第1号 相楽東部広域バスの利用啓発について
- ・報告第1号 白川町視察報告について
- ・報告第2号 相楽東部地域の公共交通施策について
- ・報告第3号 「村タク」のエリア拡大の状況報告について

6-1. 審議内容（会長挨拶）

- ・関西本線は幹線として残し、他の公共交通とも連動させたい。計画改訂を控えしっかり議論したい。
特に、報告第2号については、私だけでなく皆さんからも色々と意見をいただきたい。

6-2. まとめ・主な意見等

●協議第1号 相楽東部広域バスの利用啓発について・承認

- ・公共交通特集については、委託しなくとも広域連合でできるのではないか。
→事前に確認して、広域連合ではできないと聞いている。

●報告第1号 白川町視察報告について

- ・公共交通の維持・活性化に向け、行政機関・地域住民が主体的に取り組んでいることを視察
- ・限られたリソース（鉄道・バス・デマンドバス等、乗務員）を有効に活用している事例
- ・4つのバス路線を2つに再編、鉄道を幹に路線バスを接続、さらにデマンド・スクールバスとも連動。
鉄道と結節するバスは、接続便・デマンド（スマホ予約可※）の2つの役割を持って運行。
※予約あり＝運行、予約なし＝運行なし、予約数多＝バスサイズ変更（部活帰りの学生利用多）
予約数（1週間前～即時まで対応）域外（観光等）利用も想定。

●報告第2号 相楽東部地域の公共交通施策について

【事務局説明事項】

- ・相楽東部地域の移動手段について、買物施設・病院施設の充実している木津川市エリア（加茂駅・木津駅）や伊賀市エリア（伊賀上野駅・上野市駅）における公共交通の充実を目指す。
- ・具体的には、広域バスの公共RS化・村タクとの統合化（※）を目指す。
※朝夕や関西本線を補完すべき時間は定時定路、日中はデマンドといった可変的な交通モードを想定。

【主な意見】

①国庫補助関係

- ・国庫補助の時期を鑑み、来年10月に新しい形（広域バスのRS化等）を目指してはどうか。
- ・フィーダー補助を週4日から週7日に変更することも検討してはどうか。

②バリアフリー関係

- ・駅のバリアフリーは、社総交を視野に協議会で議論することも必要。

③広域バス

- ・広域バスの現在の役割は、①関西本線の待ち時間が長い時間帯の補完、②駅より細かい停車駅の2つがあったが、村タクが笠置町にエリア拡大するのであれば、②の役割は村タクに譲り、①の役割に特化してもよい。また、停車駅も国道沿いのみにして、高速化を図るべきではないか。有市や小屋は、国道沿

いなのであってもよいが、南大河原会館や笠置駅等に入っていく必要はないのではないか。

- ・事務局案の所要時間 35 分（加茂～月ヶ瀬口）で繋ぐルートを優先的に検討すべきではないか。
- ・村タクが広域で移動するのはオプションとし、基本は、関西本線や広域バスへの中継になるべき。
- ・広域バスが、木津川市エリアや伊賀市エリアへ延伸する場合、朝等のまとまれる時間で実施し、帰りは関西本線等で帰ってきてもらえればよいのではないか。
- ・広域バスの所要時間を現在の 50 分から 35 分に時間を短縮し、関西本線を本格的にサポートできるのであれば、運賃を関西本線と広域バスで同額にしてはどうか。
- ・広域バスは、現在 JR 定期券を持っている人は無料で乗車できるが、乗車券でも乗車可能にしてはどうか。関西本線の収入や乗車人数が減る訳ではなく、広域バスも利用者増が見込める。
- ・広域バスの木津駅への延伸について、木津川市が色々と懸念されているが、木津川市コミュニティバスとの競合は基本的に懸念する必要はないのではないか。木津駅と加茂駅の間を広域バスで繋ぐだけで、その間に人が乗れるわけではないので、コミュニティバスとは競合しない。鉄道路線の廃線については、「関西本線の走っていない時間帯しか定時定路線は走らない」など、少し議論する必要がある。
- ・将来的に、広域バスの（体系を変えた）運行継続を支援する場合、これまでの実証実験の総括や新たな実証運行を実施する意義を示していただく必要がある。

④その他

- ・関西沿線一体で議論する為、亀山市のオブザーバー化、伊賀市・木津川市の委員化を検討すべき。
- ・「村タク→ぐるり号（伊賀市）」の乗継に 2 台のリソースを要しており、見直すべきではないか。

●報告第 3 号 「村タク」のエリア拡大の状況報告について

- ①笠置町へ運行区域拡大は、令和 8 年度に本格運行開始を目指す。
- ②運賃は地域の笠置町・南山城村の公共交通会議で議論、土日運行の課題は今後検討していく。

●その他

次回は、①【報告第 2 号】相楽東部地域の公共交通施策についての続編、②計画更新に係る議論 等を想定